民生委員・児童委員シンボルマーク

民児協だより おの

小野市民生児童委員協議会

事務局/小野市役所　社会福祉課内

電　話/(0794)63−1011

第24号

令和7年(2025)10月1日発行

民生委員・児童委員は あなたの相談相手です



お買いものツアー



一人暮らし高齢者の食事会



恒例のお花見会



学校訪問

三年間を振り返って

小野市民生児童委員協議会 会長　貝原　一

月日が経つのは早いもので、今期の民生児童委員・主任児童委員の活動期間も残すところあと少しとなりました。この3年間、各町における支援活動を柱に、幹部月例会や3部会活動、学校訪問、地区別研修会等、委員の皆さんと共に忙しい日々を駆け抜けてまいりました。地域の皆様のご協力に感謝いたしております。

さて、昨今、少子高齢化や人口減少が急激に進行し、人間関係の希薄化などを背景に社会や家族の姿が大きく変化しています。児童や高齢者に対する虐待、自殺や貧困の問題、認知症高齢者の行方不明問題、孤独死、引きこもりやヤングケアラーなど、地域住民の抱える課題も複雑化・多様化しているのが現状です。

私たち民生児童委員は社会奉仕の精神を胸に、日々、地域の皆様からの相談を受け、行政・関係機関等への「つなぎ役」としてその支援に携わっています。

しかしその一方で、民生児童委員の努力だけでは判断や対応が難しいケースが増加している傾向にあります。必ずしも要因が一つでなく、どの窓口を頼り、どんな支援を受けることが出来るのか迷うことが多々あります。

令和6年度から社会福祉課の中に「重層的支援体制」を整備するため、2名の推進員が配置されました。属性を問わない包括的な相談窓口の存在は、複雑化した支援ニーズに直面することの多い民生児童委員活動において、まことに心強く感じております。また、個々のニーズに合った支援を行うには、民生児童委員と自治会会長(区長)との一層の意思疎通と連携が必須であると考えます。

そして、子どもや高齢者、障がい者等、全ての人々が、地域・暮らし・生きがいを共に創り、高め合うことが出来る「地域共生社会」を実現する方向をより強く目指したいものです。

結びに、残りあと僅かになった任期ではありますが、民生児童委員の仲間と共に関係機関のお世話になりながら、誰もが安全安心に暮らせるまちづくりのため、元気に楽しく取り組んでまいりたいと思います。今後ともご協力よろしくお願い申し上げます。

高齢福祉部会

高齢福祉部会研修会



高齢福祉部会の研修会は、7月9日に小野市防災センターで開催され、22名の民生児童委員が参加しました。元消防士　羽原靖幸様に「災害から自分と大切な人を守る」というテーマで民間人になって気が付く「防災」の講話を聴きました。

防災の準備をしないといけない事はわかっているが、何をすればいいかわからない。今は忙しいからまた今度やろう。もし災害が起こった時には何とかなるだろう。それでいいのかな?の羽原様の問いかけに、各自の携帯電話を開き、市ＬＩＮＥ公式アカウントを友だち追加し、市からの防災情報を受け取れるように、全員で防災メニューを受信設定しました。市内に全戸配布されている小野市防災マップを活用して、自分の住んでいる地域の避難場所と避難経路もチェックし、市防災センターの機構や免震構造や防災備蓄品の倉庫も見学し、防災対策の重要性を感じました。

日頃から「小野市防災マップ」をチェックし、「防災グッズ」を用意し、町役員と共有している「避難行動要支援者」のファイルを活用し、災害から大切な人と自分を守る気持ちを忘れず、寄り添う気持ちを持って、民生児童委員として今後も活動しようと思います。

高齢福祉部会の活動を振り返って

高齢福祉部会長　**西尾　正**

わが部会では如何に高齢者の福祉に寄与できるか研修会等を通じて学ぶことができました。初年度は高齢者には欠かせない「介護保険制度と介護サービス」について小野市介護支援専門員から、次年度は「認知症」について地域包括支援センター長から講義を受けました。本年度は「防災センターの見学」を通じて災害や不慮の事故等の際、民生児童委員として如何に対応するか、防災センターの機能を学びました。部会活動を通じ学んだことを今後の民生委員活動に活かして行きたいと思います。

民生児童委員活動は、区長・自治会長等、地域の皆様とともに対象者の個人情報の守秘義務を堅持しつつ情報を共有し、市及び社会福祉協議会との連携のもと進めなければならないと思います。今後もサポートが必要な高齢者が心配なく日常生活を送ることができるよう見守ってまいります。

福祉部会

福祉部会研修会



福祉部会では、7月18日にエクラ大会議室で研修会を開催し、民生児童委員27名が参加しました。

今回は、小野市市民福祉部の犬塚良子様を講師としてお招きし、小野市の重層的支援体制整備事業についてご講演いただきました。参加者からは、地域福祉の新たな可能性について学ぶ貴重な機会だったとの声が聞かれ、大変有意義な研修会となりました。

令和6年4月から、小野市では複雑な困りごとに寄り添う重層的支援が始まりました。従来の縦割り窓口から、担当部署が異なる職員が連携して対応するワンストップ窓口へ。様々な専門家との会議も開いています。

この事業により状況が好転したケースを紹介してくださり、犬塚様からは「どんな問題でもまず相談を」との言葉に参加者は安堵しました。福祉には「思いやり（優しさだけではない）と「想像力（その人の今後）」が大切で、行動は心から生まれるとお話いただきました。

少しのおせっかいや、自分にできることを民生児童委員の活動に活かしていきたいと思います。

福祉部会の活動を振り返って

福祉部会長　**藤本　明弘**

福祉部会では、福祉に関わる多様な研修を実施してまいりました。令和5年度の「小野起生園・小野福祉工場の施設見学」では障がい者の方々が就労している様子を見学させていただき、令和6年度の「小野市の救急の現状」では現役の消防署員から救急搬送時の対応についてお話をお伺いしました。そして今年は「重層的支援体制」について学んでまいりました。重層的支援体制がスタートして1年が経ち、成果と課題を説明していただきました。

これからも高齢化は進行し、人間関係は希薄化していくでしょう。皆様の要望や困りごとを関係機関につなぐ民生児童委員の活動は重要度が増していくものと考えられます。「つなぐ」が仕事の民生児童委員として、当部会の研修がその一助になっていれば幸いです。

当部会の研修でお越しいただいた講師の方々や見学させていただいた施設の皆様には、本当にお世話になりました。改めて関係者の方々のご協力に厚くお礼申し上げます。

児童福祉部会

児童福祉部研修会

児童福祉部会の研修会が7月23日に開催され、委員29名が参加しました。

発達障がいのある双子の母、森山和泉様を講師に迎え、発達障がいのある人と心が整う接し方をご自身が描かれたイラストを交えながら楽しく講演をしていただきました。

発達障がいの子どもは、専門書通りにはいかず、日常生活に支障をきたすほどの個性の持ち主であり、言葉や表情が足りずに誤解を受けることも多くあるとのことです。その人の特性をよく理解して、今、何がわからないのかを汲み取り、その人が本来持っている力を発揮できるように「個別に」「短く」「穏やかに」「明確に」「解説する」といったその人が本来持っている力を発揮できるように具体的な言葉で声掛けをし、そして必ず最後にねぎらいの言葉をかけてほしいとのことでした。

また、発達障がいのある人と日常生活の中で、気楽に、気軽な関係を築いていくことの大切さを強調されていました。

この研修を通して、発達障がいのある人の特性や付き合い方、その人らしさを伸ばす支援・サポートの大切さを改めて学びました。講演を終えるにあたり、「明るい言葉を言い続けて、素敵な1年後を思い浮かべ、心軽やかに過ごしましょう」と締めくくられました。

私たちも明るい言葉を言い続けて、素晴らしい1年を過ごしたいと思います。



児童福祉部会を振り返って

児童福祉部会長　**奥田　道春**

私が民生児童委員を引き受けてから6年を迎えようとしております。特にこの3年間は役員と児童福祉部会長を務め、濃密な時間を過ごさせていただきました。

児童福祉部会では、3年間で「外国籍の子どもへの支援について」「不登校に関する研修会」「発達障がいの世界を理解する～心が整う関わりのコツ～」の3つの研修を実施いたしました。今を生きる子ども達がどのような課題に直面しているのか、またそれに対し自分たちに何が出来るのかを見つめなおす良い機会になりました。

近年、子ども達の置かれている環境は目まぐるしく変化しております。自分たちが子どものころは野山を駆け回って遊んでおりましたが、それも今は昔。現代の子どもたちは、小さいときから親のスマートフォンに触れ、デジタル機器を自在に使いこなしております。しかし、大人顔負けのデジタル技術を持っていても、まだまだ子ども。健やかな成長を願い、これからも地域で見守りを続けていこうと思います。

最後になりましたが、研修講師の方々や部会員の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

こんにちは 主任児童委員です

今までの活動を振り返って



橋本さん

主任児童委員の活動を通して、たくさんのかかわりの中で多くのことを学ばせていただきました。6年間ありがとうございました。



河嶋さん

子育ての悩みや不安に寄り添ったり、手助けをしたりする活動をしてきましたが、学ぶことの多い6年間でした。多くの人に助けていただいたことに感謝です。これからも子ども達の健やかな成長を願っています。



松尾さん

毎日、子どもに食べさせて育てるだけでも大変なこと。無理せず、自分の生活も楽しみながら子育てしていきましょう。そしてまわりの人を頼りましょう。子ども達は、すぐ親の手を離れていきます。



岩本さん

無垢な赤ちゃんや子ども達に癒され、元気をもらって活動しています。美しい澄んだ眼を見ていると、誰もが幸せになってほしいと願うばかりです。



水池さん

主任児童委員になって地域の子ども達をより身近に感じることができました。自分の視野が広がったと思います。これからも子ども達の笑顔のサポートをしていきたいです。



中川さん

時代は目まぐるしく変化していきますが、子ども達の笑顔は変わりません。そんな笑顔に会いたくて地域の方々や民生児童委員さん達と共に活動しています。



嘉嶋さん

学校訪問が再開されて3年、校区の民生児童委員さんの温かいまなざしや見守り活動に感謝!です。子ども達の笑顔に私たちも元気をもらっています。

「一人ひとりが輝く笑顔のために」

民生委員さんたちと学校訪問をしました。地域の中での子ども達の様子や気づきを学校に届けました。



・学校訪問・

学校との連携の大切さを学びました。



先生との話しあい



授業参観



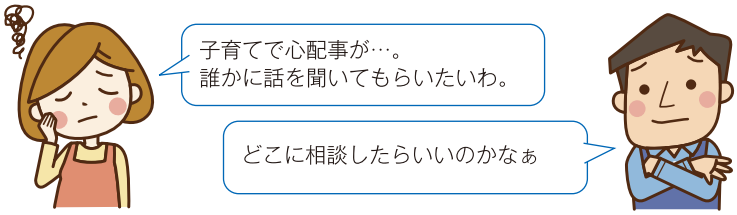
・登下校 見守り・

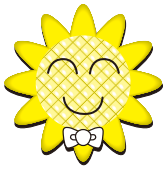
登下校の様子や気づきを話し合いました。



下校の様子

私たちは子育てに関する地域の身近な相談役です。守秘義務があるのでご安心ください。





必要があれば
適切な機関を
ご紹介します。

一斉改選のお知らせ

市民の立場に立って必要な援助を行い、市や行政機関とのパイプ役を担う民生児童委員、主任児童委員の任期は3年となっており、今年はその一斉改選の年です。

新しい委員の任期は、令和7年12月1日から令和10年11月30日までとなっています。

町によっては、再任される方もおられますので、お住まいの地区の民生児童委員、主任児童委員さんについて、お知りになりたい方は、事務局までご連絡ください。



※イラストは許可を得て使用
（全民児連PRポスターより抜粋）

●心配ごと相談

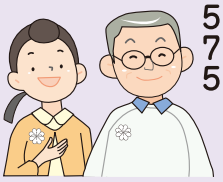
日々の暮らしの悩みや心配ごとの相談を行っています。

相談員：民生児童委員・主任児童委員
日　時：毎週火曜日10時～12時
場　所：コミュニティセンターお1階106号室

問い合わせ先
小野市社会福祉協議会
電話 0794(63)2575

●にこにこ子育て相談

保健師・栄養士・子育て支援員・主任児童委員等による子育てや保育所入所前の相談を行っています。



開催日：令和7年　11月5日（水）
　　12月3日（水）
　　令和8年　1月7日（水）
　　2月4日（水）
　　3月4日（水）

時間：9時45分～11時
場所：児童館チャイコム

問い合わせ先
小野市立児童館チャイコム
電話 0794(63)8588



編集後記

現在の編集委員では最終となる「民児協だより」をお届けします。

各地区から推薦を受けた民生児童委員が、研修を積み、皆様の声を聴かせていただく中で、少しずつ成長してきた様子を紙面で報告してまいりました。

気候変動あり、少子高齢化問題ありと、私達をとりまく環境は大変きびしい状況です。それでも、知恵と工夫と助け合いで、みんなで乗り越えていくことを願っております。

なお、発行にあたりましてご協力いただいた皆様に、お礼申し上げます。

編集委員

副会長　宮本まゆみ
部会長　市枝　秀子
委　員　諸正　清美
　　藤原由美子
　　中元智早代
　　藤池眞由美
　　藤原　明子
　　友定　和子
　　田中　恵子